

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 白梅の里

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 10 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	法人理念と基本方針を掲示しているが、ホームが目指す介護の在り方を示した理念を、職員間で話し合い、介護の原点に戻り、理念を大切に、ホームが目指す利用者本位の介護の実践を目指していく。	介護を熟知している職員が多いので、理念を職員一人ひとりの介護の心得として、利用者が慣れ親しんだ地域の中で、家族や親しい人達と、何時までも安心して過ごせる環境を整え、理念を大切に介護の実践に取り組んでいく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族の面会時に意見や要望を聞いているが、話す機会の少ない家族とも、話し合いが出来るように工夫し、電話や自宅訪問等を行い、家族と信頼関係を構築していく。また、玄関に意見箱を設置し、来訪者の意見や要望が出しやすい環境を整えていく。	年4回発行の事業所便りを小まめに発刊し、家族の楽しみになるように工夫し、ホームの運営や取り組み等を全家族に理解して貰い、家族の協力を得て、ホームの運営や利用者の介護計画に反映出来るように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。